

インドネシア・アチェ州農村部でのフィールドワークに伴い、県長への表敬訪問、シャクアラ大学での講演等を行い、地元メディアで報道されました（2026/07/05～10）

テーマ：災害科学、農園開発、まちづくり、持続可能性、インドネシア、国際共同研究
会 場：インドネシア共和国アチェ州ナガンラヤ県、およびシャクアラ大学（バンダアチェ市）
URL：<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-24KK0015/>

科学研究費助成事業（科研費）（国際共同研究加速基金：海外連携研究、24KK0015）プロジェクト（代表：原裕太助教（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス））の一環で、インドネシア共和国アチェ州において、インドネシア国家研究革新庁（BRIN）、シャクアラ（Syiah Kuala）大学農学部、数学・理学部、東北農林専門職大学と共同で予備的フィールドワークを実施しました。

本プロジェクトでは、熱帯林破壊の主要因とされる農園（プランテーション）開発と、災害脆弱性の高い人々に集中する自然災害の被害という、2つの重要な地域課題の相互関係に注目し、とくにインドネシア外島部を事例に、両者の課題解決が両立・連環する空間立地、社会経済システムの実証的解明を目指しています。さらに成果の統合を通じた、森林・農園管理と災害脆弱性を踏まえた関連政策、国際・国内認証制度に関する提言も目指します。

今回のフィールドワークでは、ナガンラヤ県の TR. Keumangan 県長（Regency Mayor: Bupati）を表敬訪問しました。さらに地域のご協力により、数日間にわたって流域一帯の村々の地形、植生、土地利用、生業等を観察し、関連企業や小規模農家の農園、工場も見学しました。それらの様子やプロジェクトの主旨等は後日、地元の複数のメディアで報道されました。また、フィールドワーク後には、アチェ州の州都・バンダアチェ市にあるシャクアラ大学において、持続可能な農業農村と自然資源に関する特別講義を行いました。



日本・インドネシア国際共同調査団



現地の様子（家畜スイギュウ）



メディア報道



シャクアラ大学での特別講義